

様式第 5 号（第 10 条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：第2期つくば市こども未来プラン(案)】

令和6年(2024 年) 11 月
つくば市こども部こども未来センター

■ 意見集計結果

令和6年(2024年)9月1日から10月1日までの間、第2期つくば市こども未来プラン(案)について、意見募集を行った結果、3人から10件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	0人
郵便	0人
電子メール	1人
ファクシミリ	0人
電子申請	2人
合 計	3人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ ビジョン について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	ビジョン「支援の輪で子供を未来へつなぐまち」について 最後が「まち」だと、まち造りのビジョンになってしまおうと思います。 子供の支援のためのビジョンにしたいのであれば「子供たちを未来へつなぐ支援の輪」の方が適切と考えます。	1件	貴重なご意見ありがとうございます。 本プランは「子どもが安心して過ごせる地域」を作るためのプランでもあります。 子どもの貧困は家庭の自己責任ではなく社会全体で受け止めて取り組むべき課題であるとの認識の下、地域、学校、関係機関等と協働で支援に取り組んでまいります。

○その他の意見について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	障害児支援の強化について 障害基礎年金のみでは生活が困難であり、特に 20 歳前に障害を発症した場合、所得制限があるため収入を増やすと年金が減額されてしまいます。これにより、働く意欲を失い、貧困から抜け出せない状況が生まれています。 提案：市として、障害児やその家族が安心して生活できるよう、所得制限の緩和や年金減額の問題について国に働きかけていただきたい。また、市独自の補助制度や支援策の検討をお願いしたいです。	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
2	精神障害への理解と支援の拡充 精神障害の障害者手帳取得が難しく、等級が低く評価されがちで、適切な支援が受けにくい現状があります。また、定期的な診断書の取得には費用がかかり、経済的負担が大きいです。 提案：精神障害への理解を深め、診断書取得費用の補助や手続きの簡素化を進めてほしい。精神障害者が社会参加しやすい環境づくりを推進	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を

	していただきたいです。		届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
3	経済的支援の強化 障害児の療育や医療費、教育費などの負担が大きく、家計を圧迫しています。特に、障害基礎年金だけでは生活が厳しく、貯蓄を切り崩す状況です。 提案：障害児を持つ家庭への医療費助成や教育費補助など、経済的支援を拡充していただきたいです。	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
4	外国にルーツを持つ障害児とその家族への支援 外国籍の障害児やその家族は、言語や文化の壁から適切な支援を受けにくい状況があります。 提案：多言語対応の相談窓口の設置や、外国人障害児への支援制度の周知・拡充を進めてほしいです。	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすこ

			とができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
5	障害者年金制度の改善への働きかけ 発症時期や初診日によって受給額に差が生じるなど、年金制度に不公平が存在します。特に、20歳前に発症した場合、障害基礎年金のみで厚生年金が受け取れず、生活が困窮します。 提案：市から国に対し、障害者年金制度の見直しを要望していただきたい。具体的には、基礎年金にも3級の設置や、所得制限の廃止などを求めてほしいです。	1件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
6	診断書取得の負担軽減 定期的な診断書の提出が必要であり、その費用負担が大きいです。特に、障害者手帳や年金の更新の際の診断書費用は数万円に及ぶこともあります。 提案：診断書取得費用の一部または全額を補助する制度の導入を検討していただき	1件	貴重なご意見ありがとうございます。 困難を抱えている子どもは、経済的困窮だけでなく、虐待やいじめ、疾病や障害、外国にルーツがある世帯等、複合的な要因が子どもの困難につながっていること、また、家庭内の問題だけでなく社会の問題であると受け止めています。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれてお

	たいです。		りませんが、障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができるよう、関係部署や関係機関と連携し、必要な支援を届け、将来の貧困を生まないよう施策に取り組んでまいります。
7	テーマ：居場所支援 提案：公園の整備 現状：夏の期間中、日中高温になり、また夕方もなかなか気温が下がらないので、夏休みに子どもたちが室内に閉じこもりがちになる。外で遊ぶことが難しい。また、今後毎年更新される異常気象や温暖化の現状から、現在の気候がデフォルトになる。そのため、夏の期間中、子どもたちが外で遊ぶことや運動不足にならないための対策が必要。気候変動の問題から、温暖化は現状ありきの問題として、後手後手にならないよう、子どものインフラ整備が必要となっている。 提案内容：夏休み期間中のみ、簡易的なミストの設置。公園に日陰ができるような屋根の増設。 期待できる効果：子どもたちが少しの時間だけでも外で遊ぶことができる。運動不足	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 つくば市では、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持ち健やかに育つことができるよう関係部署や関係機関と連携し、施策に取り組んでいます。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、困難な状況にある子どもが安心して暮らし続けていくために、子どもたちの居場所支援に取り組むとともに、将来の貧困を予防する施策を推進していきます。

	の解消。子育てのしやすさ。 生活のしやすさ。		
8	テーマ：妊娠・出産期からの保護者、子どもへの生活支援の推進、子育て支援ボランティア、担い手の育成について 提案：児童館の活用・整備 現状：現在は、学童の居場所になっている。遊びに行く場所として、選択肢に挙げられるほど、整備ができていない。例に挙げると東児童館、並木児童館は、乳幼児、未就園児 向けのおもちゃなどは、管理が行き届いていない。 提案内容：古いおもちゃのリニューアル。本についてもできればなおよい。 いらなくなったおもちゃ、寄付できるおもちゃを集め、各児童館で使用する。周囲でも、使わなくなった小さなころのおもちゃなどが、どうしたらいいか、という声を聞く。役にたつ、と分かれば、快く寄付してくれる家庭は多いことが期待される。おもちゃ寄付のイベントなどは、自身も協力できることがあるので、声をかけて頂ければ、ご協力したい。 また、児童館の職員は、乳幼児、親子が気軽に遊びに行け	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 つくば市では、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持ち健やかに育つことができるよう関係部署や関係機関と連携し、施策に取り組んでいます。 ご提案いただいた内容は、本プランの実施事項には含まれておりませんが、困難な状況にある子どもが安心して暮らし続けていくために、子どもたちの居場所支援に取り組むとともに、将来の貧困を予防する施策を推進していきます。

	る場所として、受け入れ態勢を整えることが必要になる。ハードな面でなく、予算をあまり使わずにできることはあります。例としては、土浦のポプラ児童館は、乳児～中学生まで様々な年齢の子どもが遊びに来て居場所として、関わる場として、使われている。 児童館については、愛知県の蒲郡市、幸田市がとても力を入れていて、子どもたちの居場所づくりの一環として、また乳幼児の親子の交流の場として、役立っている。 現在乳幼児の親子が、遊べる場所として活用しているのが、自宅、親せき宅、友人（つくばは、転入出が多いためもあるので他の地域に比べて、子育ての孤立化が起こりやすいとも考えられる、現状を把握するためのアンケート実施を希望する）、支援拠点、公園、有料施設（イオンなどの中にある遊び場）などがあげられる。 期待できる効果：乳幼児の親子のコミュニケーションの場、子育ての孤立化の防止。夏場、冬場の子どもの遊び場。 地域にすでにある児童館を学童のみでなく、一般的に開放して、活用してもらうことで、より子育てしやすい地域	
--	--	--

	となることが期待できる。 貧困家庭と、貧困になりそうな家庭、また貧困でない家庭の包括的な支援を行うことによって、家庭間の関わりの機会を作り、困難者の早期発見が期待できるとともに、困難になる前に事前に解決する糸口を作ることが期待できる。 就学後の学習支援のみでなく、就学前の子ども・親子のインフラ整備こそが、困難になる前の予防線となり、また子育て環境や子どもの生活環境の底上げになると考えられる。		
9	テーマ：データ収集 提案：健診時のデータ収集、実態調査の実施 現状：データ収集に関しては、国のデータベースのみを参考としているが、つくば市は特色のある地域なので、実際の現状をより正確に分析し、より具体的に適切な方法で解決していくためにも親子へのアンケートや実態調査をよりしていただきたい。 提案内容：3歳児健診など、未就園児の健診時は、必ず参加するものなので、実態調査の機会としても有効であると考えます。 ちなみに健診は、長い待ち時	1 件	貴重なご意見ありがとうございます。 つくば市では、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持ち健やかに育つことができるよう関係部署や関係機関と連携し、各基本施策に取り組んでいます。 幼児期の健診として1歳6か月健診、3歳健診で問診票や保護者の聞き取りから、子どもと子育ての状況等を確認し、必要な支援につなげています。また、乳児期の1か月児健診、乳児健診（前期・後期）においても問診票により支援が必要な子どもや世帯を確認した際は、電話や訪問等の対応をしている状況です。 現在、保健センターで実施して

間や、午後という時間設定がその年齢には厳しいものがあり、あやしたり、待つために、保護者は大変苦労している。 市内にたくさんある、支援団体の協力を得て、読み聞かせや手遊びなどを行い、楽しく過ごせるように設定することで、市全体の子育てに対するイメージや印象がポジティブになるので、ぜひ活用して頂きたい。その際は、子育て支援団体のプラットフォームである、かるがも・ねっとなどが、支援団体をつなぐ活動を行っているので相談して頂きたい。 期待できる効果：データ収集が、地域・現状に正確なものであれば、対応や解決方法もより、現状に合ったものをつくることができる。 また、健診の雰囲気を楽しい雰囲気であれば、子育てに対するポジティブなイメージや、市が支援してくれる、子育てしやすいイメージを持つことができる一つの機会とすることができる。	いる幼児健診は、待ち時間の解消に努めるため、予約制の対応をしております。また、保健センターのスペースは、限りがあるため、健診時に読み聞かせや手遊び等の他のイベントを実施するのは困難な状況です。 今後も、健診時のデータから、支援が必要な子どもに対して、早期対応できる体制整備に努めると共に、困難な状況にある子どもが安心して暮らし続けていくための支援に取り組んでまいります。
---	---

■ 修正の内容

- ・ 特になし